

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 ふくしま駅伝

11/17 ~郷土の誇りを胸に~

3年ぶりに全区間にタスキをつなぐ

第25回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は、白河市総合運動公園陸上競技場をスタート、福島市の県庁前をゴールとする16区間、95.1kmのコースで行われ、全市町村参加のもと熱戦が繰り広げられました。

今大会に、飯舘村は3年振りに全区間に出場しました。(結果51位:6時間01分06秒)

選手たちは、全区間での出場が次の時代にタスキをつなぐことになると、それぞれ避難先での練習に励み、全力で快晴の福島路を駆け抜けました。



12区 (7.0km) 佐藤 彰洋選手

今回、久しぶりに全区間の出場で、総合順位がつくということで、何とかタスキをつなぎたいと思って走りました。繰り上げにはなりましたが、1秒でも早くゴールに着きたいと思って走りました。走れて、良かった。



11区 (3.9km) 佐藤ちさき選手

今回のレースは苦しかったけれど、「みんなゴールで待っている」と思って、最後まで諦めないで走りました。



10区 (9.3km) 板倉 健悟選手

飯舘を応援してくれる人がたくさんいて、うれしかったです。チームの人数がギリギリで、自分は南相馬市出身ですが、飯舘分署に勤務しているので、仕事もそうですが、走ることで、少しでも力になれるかと思ひ参加しました。



9区 (3.0km) 高橋 円佳選手

レースでは、一人抜かせたのですが、タスキを渡せなかった。目の前で次の区のランナーが、繰り上げ一斉スタートで出発するのが見えて、それがすごく悔しかったです。

いいたてチーム 16区間力走

15区 (3.4km) 佐藤ちさと選手

部活動を引退して体力が落ちていて、いいタイムが出せずに悩んだこともありましたが、ちゃんと避難先の栃木で練習してきました。応援の声がとても多くて励まされ、最後まで走ることができました。



14区 (5.7km) 加藤 輝彦選手

自分をつなぐだけの役割。走り切れてよかった。ほかの選手は不安だったり、期待されてプレッシャーを感じたりもあったと思います。そこを協力でチームが成り立つ、すごいと思います。感謝です。

13区 (4.8km) 飯畑 友貴選手

練習不足ではありましたが、フル出場で、その1人として出場させていただいて、大変貴重な経験になりました。自分のタイムは遅かったけれど、「走らせてもらい、ありがとうございました」という気持ちです。



加藤選手 25回連続出場で表彰!

高校2年生から出場して、いやなこと、うれしいこともありましたが、こういう協力があったからこそ25年でした。ありがとうございます。

16区 (8.4km) 大内龍太郎選手

今日は3年振りのフル出場で、喜びもありましたが、力が不足している難しさもありました。自分がチームをひっぱる役目とっていて、今回はアンカーでもあり、村民の皆さんに、元気に走っているところを見せたかったのですが、やっぱりチームとしては厳しかったです。でも、ここがスタート。学生など若い人にも走ってもらい、チームをひっぱりながら、飯舘を復活させていきたいです。



控え 菅野 茜選手

全区間出場できてうれしかったです。補助の仕事は思っていたより大変でした。選手の人がんばってくれてよかった。自分も練習して走ってみたいです。



3区 (5.8km) 菅野 茂則選手

人数の少ない中でも全区間走ることができました。来年もこれをバネに頑張っていきたい。若い人にも走ってもらって、順位を上げられたらと思います。「飯舘がんばれ」というたくさんの応援の声、ありがたかったです。



4区 (7.3km) 大内 匡泰選手

自分のところで、タスキがつながるか、つながらないかだった。5区を走る弟につなげなかったのが、そのことだけを考えて走りました。



2区 (8.2km) 高橋 俊希選手

何も考えずに、ただがむしゃらに走りました。チームに強い選手がいなくて、2区の俊希君を苦しめなかったかと。でも、体が痛むこともなく、完走できたのは良かったと思います。



1区 (4.0km) 佐藤ひろ選手

陸上が専門じゃないので、短い準備期間でのレースでした。心残りは、2区につなぐ時、自分の前に他チームがいなくて、2区の俊希君を苦しめなかったかと。でも、体が痛むこともなく、完走できたのは良かったと思います。



次の時代にタスキをつなぐために

8区 (4.1km) 細杉 睦輝選手

つらかったけれど、諦めずにがんばりました。駅伝は初めて出場しましたが、みんながつなぐと、競走とは違うと思います。



7区 (5.2km) 今野 凱斗選手

最後尾だったけれど、完走はできました。すごく緊張したレースでした。

6区 (8.3km) 藤井 慶介選手

ふくしま駅伝には、4年振りでの出場でした。人数が少ないけれど、タスキをつないで、村の人と走れたのが嬉しい。でも自分の結果は残念だったので、また機会があれば、練習して走りたいと思います。



5区 (6.7km) 大内 凜太郎選手

駅伝は初出場でした。今まで応援する方だったので、走る人の気持ちは分からなかった。大変だと思いました。(前のランナーの兄から)つながるか、つながらないか微妙で、来たのが繰り上げ一斉スタートの3分前。うれしかったです。



監督 森永 伸一監督

村民の皆さんの応援並びにご支援のもと、25年連続出場を果たしてゴールできました。ありがとうございます。今回のチームは選手というよりは、村民(出身者)として「飯舘村のために」という思いをタスキに込め完走しました。今日のゴールが次へのステップにつながると思います。今後もプロセスを大切に急がず休まず、まい進したいです。



◀ 県庁前のゴールに駆け込む大内選手

